

平成 27 年度 事 業 報 告

- ・ 墨田さんさん会本部
- ・ 墨田さんさんプラザ
- ・ すみださんさんるーむ
- ・ ワクワク工房デイサービス
- ・ 亀沢七福福祉作業所
- ・ 向島七福福祉作業所
- ・ ほーむ大洋
- ・ ほーむアンブレラ
- ・ 相談支援センターさんさん

社会福祉法人 墨田さんさん会

平成27年度 墨田さんさん会本部 事業報告

1 事業報告

新事業「空ゆけ未来工房」の建設から完成に向け27年度は大変あわただしい1年になりました。新施設開設に向けて理事会・評議員会において重要事項を審議、承認していただきました。又それに伴う職員の採用等様々な課題を消化してまいりました。研修については別表にまとめました。

(1) 本部の役割

墨田さんさん会の各事業所が適正かつ円滑に事業運営が執行できるように本部を中心に事業調整を図りました。職員の健康診断受診、研修、採用や契約の更新等、人事を含め、各事業所と連絡を密にとりながら事業費の執行や調整・推進を致してまいりました。又、28年度からの新事業をスタートするために建設業者の選定、建設等に向けて資金の執行・設計業者・建築関係業者との打ち合わせ、現地の建設状況の確認等、建設についての全ての交渉等を行うことで諸業者との契約の準備を整えました。また、亀沢七福の移転に伴う、不動産事業者や家主との交渉等を行い、新たな備品の購入に係る援助の他、亀沢七福としての事業の終結、場所の移転がスムーズに行うことができるよう側面から支援しました。

(2) 新事業「空ゆけ未来工房」の経過報告について

前年度2月に土地の契約が整い、その後下記のように推移致しました。既存建物の解体から建設まで、27年度中に集中して行う事柄が非常に多く、本部の事務量が格段に多くなりましたが、27年度中に無事完成することができました。これは、建設や設備に係る業者の方々をはじめ、地元町会長様をはじめ町会の皆様のご協力の賜物と思います。

平成27年度末で廃止になる厚生会館の利用者をはじめ亀沢七福の利用者が共に1日の空白を作ることなくスムーズに新年度につなげることができたことは、本部としても大変喜ばしいことでありました。

3月の落成式には沢山のお客さまで賑わいました。

27年4月から6月	既存建物（4階）の解体(三田土木株)
5月	建築業者、入札参加条件の決定
6月	工事発注表の公表開始
7月	入札実施
	事業者決定(岡建工事株式会社)

8 月	工事請負契約の締結 起工式 工事着工
1 2 月	上棟式
2 8 年 3 月	落成式・工事終了

2 広報活動

墨田さんさん会の理念に基づき、いろいろな機会を捉えて広報活動を行ってきました。ホームページの更新等により、墨田さんさん会の事業が理解していただけたことと思います。又、事業所で行っている「プラザまつり」や地域で行われる自主生産品の販売等を通し知的障害を持つ人達の理解が深まるよう側面から支援活動を行いました。

3 理事会・評議員会について

当法人の実施事業にかかわる重要事項を審議するための理事会・評議員会は、次のとおり開催しました。今年度は新事業推進につき①理事会②評議員会が6回開催されました。

①理事会

回	開催日	主な審議内容
1	5 月 1 1 日	議案第 1 号 「空ゆけ未来工房」の進捗状況について 議案第 2 号 入札について、 入札参加条件・指名業者選定基準について
2	5 月 2 8 日	議案第 3 号 定款の変更について 議案第 4 号 平成 2 6 年度事業報告案について 議案第 5 号 平成 2 6 年度決算報告案について 議案第 6 号 平成 2 6 年度監査報告について
3	7 月 2 日	議案第 7 号 空ゆけ未来工房の進捗状況について 議案第 8 号 指名業者の決定について 議案第 9 号 予定価格の決定・最低価格の有無について
4	8 月 3 日	議案第 1 0 号 「空ゆけ未来工房」建築等契約締結の承認について
5	9 月 2 9 日	議案第 1 1 号 「空ゆけ未来工房」の追加工事について 議案第 1 2 号 建築に伴う補正予算案について
6	3 月 2 3 日	議案第 1 3 号 平成 2 7 年度補正予算案について 議案第 1 4 号 平成 2 8 年度事業計画案について

		議案第 15 号 平成 28 年度予算案について 議案第 16 号 管理者人事について 議案第 17 号 年度末職員一時金について 議案第 18 号 規程変更について 議案第 19 号 備品購入及び業務契約について
--	--	---

②評議員会

回	開催日	主な審議内容
1	5 月 11 日	議案第 1 号 新事業の進捗状況について 議案第 2 号 入札について 入札参加条件・指名業者選定基準の決定等
2	5 月 28 日	27 年度事業報告・決算報告・監査報告について 議案第 3 号 定款の変更について 議案第 4 号 平成 26 年度事業報告について 議案第 5 号 平成 26 年度決算報告について 議案第 6 号 平成 26 年度監査報告について
3	7 月 2 日	議案第 7 号 「空ゆけ未来工房」の進捗状況について 議案第 8 号 指名業者の決定について 議案第 9 号 予定価格の決定・最低価格の有無について
4	8 月 19 日	議案第 10 号 「空ゆけ未来工房」建築等契約締結の推進について
5	9 月 29 日	議案第 11 号 空ゆけ未来工房追加工事について 議案第 12 号 建築に伴う補正予算案について
6	3 月 23 日	議案第 13 号 平成 27 年度補正予算案について 議案第 14 号 平成 28 年度事業計画案について 議案第 15 号 平成 28 年度予算案について 議案第 16 号 管理者人事について 議案第 17 号 年度末職員一時金について 議案第 18 号 規程変更について 議案第 19 号 備品購入及び業務契約について

4 墨田区福祉保健部厚生課社会福祉法人係の法人指導検査の報告

平成28年2月23日、墨田区福祉保健部厚生課、指導監査員2人により、26年度墨田さんさん会の法人本部・法人指導検査が行われました。その結果、「文書による指摘はなかった」との報告を受けました。

5 社会福祉法人墨田さんさん会監事2人による監査の開催

平成28年5月26日 13時30分より

墨田さんさんプラザ3階多目的室において、2名の監事により、平成27年4月1日～28年3月31日までの業務執行状況及び財産管理、財務執行状況について、監査が行われ、全て適正に執行されていることが確認されました。

職員の研修

27年度は11月、3月に墨田さんさん会全職員を対象とした全体研修を実施いたしました。11月の緊急援護では向島消防署より、職員を派遣して頂き、緊急援護の講習、体験を行い又、第2部ではセコムの職員によるAEDの取り扱い方法や実際に人を対象とした実地の研修を行いました。相互交流もでき、活発な意見も聞かれました。

平成27度 職員研修受講記録

27年 月	研修内容	主催者 参加人数
7月	27年度福祉事業者人権研修 第1回 第2回 第3回	東京都・福祉保健局 7名
9月	東京都・相談支援現任研修 1日・14日・15日	都・障害者福祉センター 1名
9月	同行援護授業者研修	1名
27年9月	虐待防止と権利擁護 社会福祉協議会	1名

27年11月	墨田さんさん会第1回職員合同研修 第1部 救急援護・講習会 向島消防署職員派遣 実地体験 第2部 AEDの使い方 実際に職員を対象にして行う。	48人
28年1月	会計・決算研修 都社協 20日・21日・27日	
1月14日	社会福祉法人制度改革について 中野ゼロホール 社会福祉法人制度改革対応セミナー	各1名
28年3月	墨田さんさん会第2回職員合同研修 虐待防止の徹底・対応規程・権利擁護規程の 再認識・再確認のための事務長による研修	プラザ18人各 各事業所は管理 者による研修

平成 27 年度 墨田さんさんプラザ 事業報告

1 利用者の状況

(1) 利用者数・年齢分布

	26 年度末(27.3.31)			入所		退所		27 年度末(28.3.31)		
年 代	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18～19 歳	0	0	0		3			0	3	3
20～29 歳	17	8	25			1		13	8	21
30～39 歳	10	7	17				1	14	7	21
40～49 歳	6	2	8		1	1		5	2	8
50～59 歳	2	2	4			1		1	2	4
60 歳以上	3	2	5					3	2	5
計	38	21	59	0	4	3	1	36	21	57
平均年齢	34.3 歳	35.0 歳	34.6 歳	4		4		34.7 歳	35.5 歳	35.0 歳

(2) 障害支援区分 28.3.31 現在

障害区分	男性	女性	計
6	0	0	0
5	1	0	1
4	2	0	2
3	2	8	10
2	8	2	10
1	4	2	6
未判定	20	10	30
計	36	22	59

2 利用状況

開所日数 239 日

延利用人数 13,601 人

3 支援の状況

(1) 個別支援計画の作成

個別支援計画（以下「支援計画」という）は、利用者個々の特性に応じたきめ細かな支援を行っていくための指針となるものです。支援計画はひとりひとりのニーズを反映するために利用者、保護者、施設職員の合議で作成します。短期・長期目標や支援の方向性を具体的に明示することによって一貫性のある的確な支援を実現するものです。この計画について、中間報告を9月末に、年間報告書を3月に利用者・保護者に報告しました。3月の報告とともに三者面談を行い、28年度個別支援計画の作成も完了することができました。

<個別支援計画作成プロセス>

時 期	事 項	
3月	①	前年度支援計画の見直し
	②	個別支援計画報告書作成
	③	利用者毎の課題と目標を設定
	④	具体的な支援内容を検討
	⑤	支援計画書担当者案作成
	⑥	担当者(案)の内容審査
	⑦	支援計画案決定
	⑧	個別面談 利用者・保護者に対する計画案の説明
	⑨	個別面談 利用者・保護者からの意見・要望聴取
	⑩	支援計画案修正
	⑪	支援計画決定
	⑫	フェイスシート作成・変更
	⑬	観察等による利用者のデータ収集・ニーズの把握
	⑭	アセスメントシート作成

(2) クラブ活動

毎月第三木曜日の午後にクラブ活動を行いました。

クラブ名	参加者数	主な活動内容
スポーツクラブ	20	外で球技・バドミントン・風船バレー・ボウリング等
写真クラブ	9	花や風景等の撮影・写した写真を使ったカレンダー作り
カラオケクラブ	15	プラザ内食堂のテレビを使ってカラオケ
卓球クラブ	5	プラザ内での卓球・スポーツクラブと合同でボウリング
創作クラブ	6	ちぎり絵・絵画・ビーズ・お菓子等の作成

(3) 行 事

平成 27 年度は次の行事を行いました。

4 月 1 日	お花見	平井橋第一公園にて特製弁当を食べた	平井橋第一公園
6 月 12 日	バスハイク	筑波山と筑波ハム	茨城方面
6 月 25 日	ボウリング大会	アイビーボウル様より招待	アイビーボウル
8 月 4 日	誰でもコンサート	トリフォニーホール様より招待	トリフォニーホール
10 月 18 日	スポレク	区主催の障害者(児)スポーツ・レクリエーション大会に参加	墨田区総合体育館
10 月 24 日	プラザまつり	第12回墨田さんさんプラザまつり開催	墨田さんさんプラザ
11 月 5・6 日	宿泊旅行	鉄道博物館・ガトーフェスタハラダ見学	埼玉方面
12 月 6 日	すみだスマイル ♡フェスティバル	不思議の国のアリス劇発表	曳舟文化センター
1 月 5 日	新年会	法人全事業所による新年顔合わせ会	曳舟文化センター
2 月 19～24 日	まち処企画展	すみだまち処にて共同販売店	すみだまち処

(4) 健康管理

事業所として利用者の健康状態の把握と利用者の自己管理を促すことの両面から、次のことを行いました。また平成 20 年度より、体調管理の指針となるように、毎月実施している体重測定の結果をグラフにして配布しています。

方法	実 施 サイクル	内 容
日常の健康 チェック	毎日	①入退所時や施設内での活動時における身体状況等の観察 ②体調の変化等に対する迅速な対応
体重測定	月1回	①月初に測定し、毎月の体重変化を把握し健康管理について助言する
嘱託医による 健康相談	月1回	①毎月第2火曜日に嘱託医が来所し、利用者の健康相談や健康講話を行う
定期健康診断	6 月 18 日 6 月 24 日	健康管理

(5) 安全管理

施設内はもとより通所途中の事故防止等についても、利用者に対し折にふれて注意を喚起するとともに、希望者には位置検索機の貸し出しを行ない、通所途中の安全確認と異常時の対応を迅速かつ適切に行ってきました。また火災や大地震の発生に備え、6 月 17 日と 12 月 2 日に避難訓練を実施しました。

(6) 就労支援

当事業所では利用者支援のひとつのゴールとして、就労支援に取り組んでいます。就労希望者には就労に向けた訓練を実施し、求人に関する情報提供をするとともに、就労支援センターと連携を行います。今年度は希望者が企業見学に参加しましたが、企業就職者を出すには至りませんでした。

(7) 利用者自治会

親睦を目的とした利用者の会“プラザの会”があります。選挙により選出された役員が中心となり、会費の運用や行事の企画等に活躍しました。職員は利用者の自主性を尊重し、サポートする立場で支援しました。

4 授産事業の状況

(1) 総収益 29,127,350 円 前年度比 95%
月平均 41,140 円

(2) 部門別収益内訳

	受注	公園清掃	点字名刺等	パン	クッキー
年計	6,801,256	1,966,922	298,472	3,978,398	2,535,879
月平均	566,771	163,910	24,872	328,541	211,323
前年度比	106%	90%	101%	100%	97%
	喫茶	清掃	緑化	リサイクル	
年計	922,487	6,299,581	5,077,085	1,244,270	
月平均	76,873	524,965	423,090	103,689	
前年比	110%	55%	257%	102%	

(3) 工賃支払総額 29,127,350 円
支払月平均 41,140 円 前年度比 1,468,327 円減

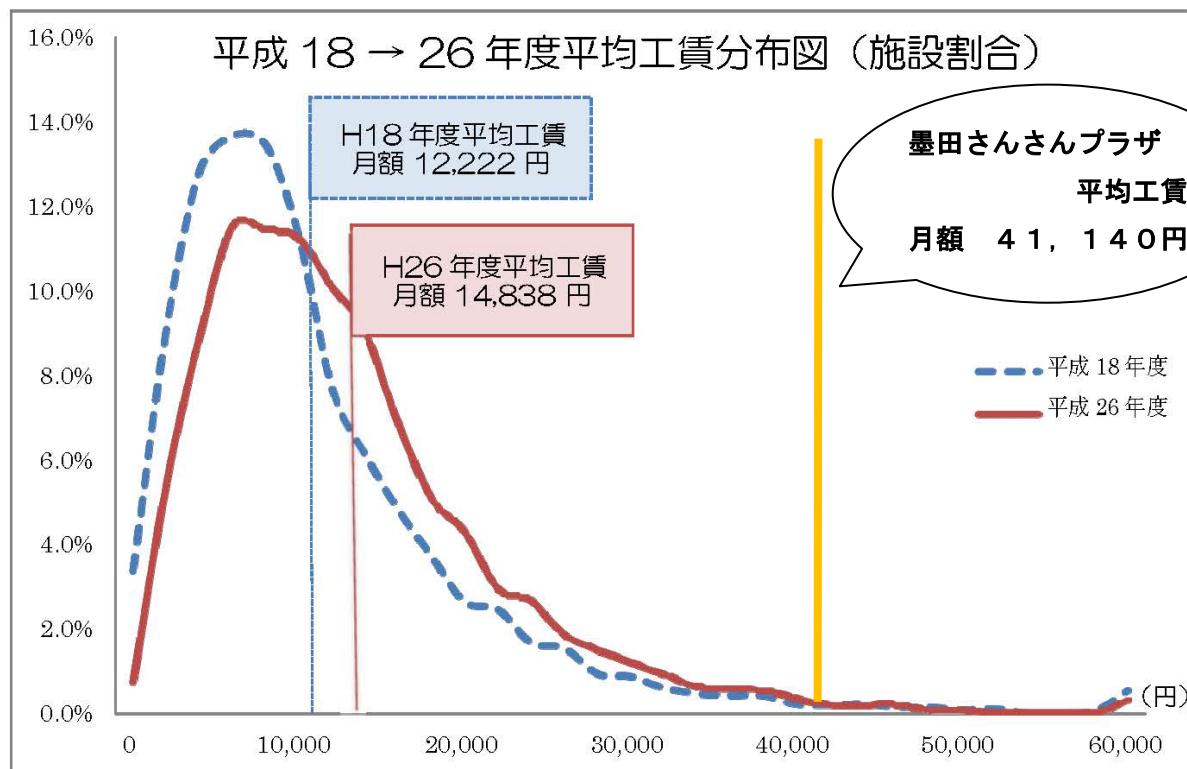
◎ 全国授産施設等における工賃支給額との対比

(厚生労働省ホームページより)

平成26年度平均工賃分布図(工賃倍増5か年計画対象施設)

平成18・26年度平均工賃分布図(就労継続支援B型事業所)

(※)平成18年度は就労継続支援B型事業所、授産施設、小規模通所授産施設における平均



5 職員体制

	施設長	事務			生活支援員兼作業指導員			嘱託医	計
	常勤	常勤	非常勤	臨時	常勤	非常勤	臨時	非常勤	
26年度末	1	1	0	0	6	2	16	1	27
27.3.31		1			24				
退職	0	0	0	0	0	0	2	0	2
		0			2				
採用	0	0	0	0	0	0	1	0	1
		0			1				
異動	0	0	0	0	0	0	1	0	1
		0			1				
昇格	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0			0				
27年度末	1	1	0	0	6	2	14	1	25
28.3.31		1			22				

6 職員の研修

実施月	研 修 内 容	参加者数
6月	マイナンバー研修	1
9月	東京都相談支援現任研修	1
	同行援護授業者研修	1
	虐待防止と権利擁護	1
11月	救急援護講習会・AED の使い方	法人全職員
1月	社会福祉法人制度改革について	1
3月	人権擁護。虐待防止、対応規程の再認識確認等	法人全職員

7 地域交流等

墨田さんさんプラザの特色であるパン・クッキーの製造・販売や喫茶コーナー、公園緑化活動や花苗配布の事業活動は、実質的かつ日常的な地域交流として大きな成果を上げています。特に花苗配布は地域に定着し緑化活動と合わせ地域に愛される存在になりました。地域交流行事の目玉である「さんさんプラザまつり」は、第 11 回を迎えることができ、盛況に開催できました。

8 福祉サービス第三者評価の受審

(1) 評価機関

評価機関 NPO法人 福祉経営ネットワーク
住 所 千代田区九段南 3-4-5 番町ビル 7A

(2) 評価の手法と内容

27 年度の福祉サービス第三者評価は「利用者調査」と「組織マネジメント」、「サービス分析」を実施しました。

(3) 評価結果

全体の講評

利用者の総合的な感想では「大変満足」が 24 名、「満足」が 25 名と 8 割以上の利用者が満足しています。去年に比べ 1 割も満足している利用者が増えていることは、サービスの充実の結果として大きく評価できるものと考えられます。また、主任を 3 人体制にしたことで、組織体制の向上と利用者支援の強化が図られました。個別支援計画の目標に基づき、個々の利用者の能力を引き出す支援を行い、成果につなげているとの評価を得ました。さらなる改善が望まれる点として、個別支援計画書に沿った具体的な支援内容がわかりやすいケース記録に、との指摘を受けたので、こうしたことを考慮し、次年度重点課題として取り組んでいきます。

9 本年度の重点課題について

(1) 新規授産事業の取り組み

①清掃作業（おおぞら）

「おおぞら」の清掃が午前の3時間になったことを受け、これまでの実績を元に効率的な作業体制を確立し、臨機応変に施設内及び周辺の清掃を行い利用者支援・育成と職員配置を行いました。

②公園維持管理作業

清掃作業時間の軽減による工賃の減少分の補填として墨田区から委託を受けた区内22箇所の公園維持管理と20箇所の花の植え替え作業を行いました。

③自主生産品

スカイワゴンでの販売をはじめ、各所でのパン・クッキー販売が浸透しました。今年度は学校法人立志舎高校での販売を行いました。パンは約50種類、クッキーは約20種類と種類を増やす等、新たな商品開発を行うことで売上も増え工賃の向上にもつながりました。

(2) 利用者支援の充実

①支援マニュアルを整備

日常の状況や障害の特性・支援内容をもとにした個別支援マニュアルの作成・ヒヤリハットを整備しました。利用者への支援の充実を図り、全職員で統一した支援方法を実行できるよう検討しました。

②安全管理の徹底

利用者の自主性を尊重し、休み時間等は本人主体の時間として見守るとともに、トラブルに対しては迅速に対応し安全確保に努めました。

③本人会活動の支援

毎月の定例会には職員も必ず参加し、本人参加の場を提供するとともに、本人たちでは難しい判断のときには適切にアドバイスをしました。旅行等の行事での本人会主催の企画の支援を行いました。

(3) 啓発事業の取り組み

①自主生産に従事する利用者の専門性の育成

パンに従事している利用者の早出を定着させるとともに、より専門的な技術を身につけられるように支援をしました。クッキーも利用者を定着させることで以前よりも高い技術を習得することができました。

②ソラマチ企画展

2月末から6日間にわたり、スカイツリータウンソラマチ5階まち処において「障害者自主生産品共同販売展」を開催しました。これまでの反省を活かし、レイアウト等に工夫を重ねた結果、関係者より好評を得られ、今後も継続して開催できればとの話をいただきました。売り上げは昨年度と同じでしたが、墨田区の障害者を持っている人達の自主生産品を全国からスカイツリーに訪れたお客様にアピールすることができました。

平成 27 年度 すみださんさんるーむ 事業報告

これまでと同様に、緊急性を考慮しつつ、利用希望者の期待にこたえられるよう積極的な取り組みを行ってまいりました。

学齢児の日中利用の増加は昨年同様、学校の休校時に多くの利用傾向がみられました。また、重度障害児・者の利用希望や他区からの利用希望、新規利用者も増加傾向にあり、本事業の必要性や重要性を実感しながら事業運営を行う 1 年間となりました。

こうした状況も踏まえ、できる限りの受け入れに努力し、利用者を同時期に受け入れる等、効率的な事業運営を行ってきた結果、利用の拡大や財政面での事業運営も安定してきたところです。

いずれにしても、利用が必要な人に必要なサービスが受けられる態勢作りを行い、緊急性を配慮した事業運営を目指してまいりました。

なお、消防法の改正により、平成 30 年 3 月 31 日までの経過措置が設けられているものの、スプリンクラー設置など、法に適応する施設整備の必要性が求められています。

1 利用実績

短期入所			
月	利用人数	延べ利用日数	
4	21	27 泊	53 日
5	21	30 泊	60 日
6	21	29 泊	57 日
7	19	28 泊	55 日
8	18	27 泊	54 日
9	20	31 泊	62 日
10	20	27 泊	53 日
11	18	26 泊	52 日
12	22	32 泊	63 日
1	23	30 泊	60 日
2	21	39 泊	77 日
3	18	34 泊	67 日
計	242	357 泊	713 日
月平均	20.2	29.8 泊	59.4 日

日中一時		
月	利用人数	延べ利用日数
4	19	53
5	17	46
6	18	56
7	20	61
8	21	60
9	21	61
10	20	59
11	24	60
12	19	51
1	20	57
2	17	59
3	21	60
計	237	683
月平均	19.8	56.9

2 職員体制（平成 28 年 3 月 31 日現在）

管理者 (兼務)	支援スタッフ			計
	常勤	非常勤職員	臨時職員	
1	1	1	3	6

平成27年度 ワクワク工房デイサービス事業報告

1 利用者の状況

(1) 利用者数・年齢分布

	26年度末(27. 3. 31)			入所		退所		27年度末(28. 3. 31)		
年代	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18～29										
30～39		2	2				1		1	1
40～49	1	2	3		1			1	3	4
50～59	3	3	6			1		2	2	4
60～	1	6	7					1	7	8
計	5	13	18	0	1	1	1	4	13	17
平均年齢	55	54	51					55	53.2	55.6

(2) 利用者数・利用日数

	26年度末(27. 3. 31)			入所		退所		27年度末(28. 3. 31)		
週	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
5日	3	9	12		1		1	3	10	13
4日										
3日										
2日									2	2
1日	2	4	6			1		1	1	2
計	5	13	18					4	13	17

(3) 月間利用回数3回以下の利用者

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
0	2	0	1	0	0	2	0	1	1	0	0	7	0.58
											27年度	25	2.08

(4) 障害支援区分 (28. 3. 31現在)

区分	男性	女性	計
2	1	4	5
3	1	7	8
4	0	2	2
5	1	0	1
6	1	0	1
計	4	13	17

	家庭		生活寮		計
	区内	区外	区内	区外	
男性	1	0	3	0	4
女性	9	0	3	1	13
計	10	0	6	1	17

2 開所日数 239日

3 利用実績 平成27年度(28.3.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
稼働日数	21	18	22	22	18	19	21	19	19	18	20	22	239	20.1
登録者数	16	16	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	202	17.3
出席者数	257	210	273	285	238	249	265	241	253	234	265	291	3061	236.7
1日平均	12.3	11.4	12.1	11.7	11.5	11.4	11.3	11.5	12.2	11.6	11.7	12.6	141.3	11.8
新規契約			1										1	
退 所														

4 支援の状況

あらゆる活動を通して、利用者が社会参加と自立を図れるよう、また、ともに生きがい高められるよう支援をまいりました。所外レクリエーションや誕生日会等、できる限り新しい経験が出来るような企画とし実施しました。併せて、四季折々の文化に親しみ、利用者が楽しめる行事を心掛けました。

27年度は16名の利用者でスタートし、6月に1名の利用者が入所され17名となりました。出席率も上がり、月間3回以下の利用者数も前年度よりだいぶ減少しました。

(1) 行事

平成27年度は次の行事を実施しました。

4月	1日お花見(白鬚東公園) 20日保護者連絡会・誕生日会(天狗)
5月	25日火災避難訓練・食事会(デニーズ)
6月	12日所外レクリエーション(群馬方面) 22日ボウリング大会・食事会(リヨン)
7月	27日誕生日会(しゃぶ田)
8月	13日・14日・17日夏休み 24日誕生日会(リヨン)
9月	28日地震避難訓練・誕生日会(天狗)
10月	9日招待観劇(すわらじ劇団 おたふく物語) 18日障害者スポーツレクリエーション大会
	20日誕生日会(デニーズ)
11月	19日～20日宿泊旅行(新潟方面) 30日食事会(そば茶屋 どっこい)
12月	6日すみだスマイル♡フェスティバル 16日誕生日会(リヨン)
12月	28日お楽しみ会(ビンゴ大会) 29～31日年末休暇
1月	1～4日年始休暇 5日新年顔合わせ会 25日誕生日会(バーミヤン)
2月	19日～24日すみだまち処共同展(19日見学・21日刺し子実演)
	22日保護者連絡会・誕生日会(しゃぶ田) 26日ふれあいコンサート
3月	4日親子所外レクリエーション(千葉方面) 23日誕生日会(天狗)

（２）参加行事

スポーツレクリエーション大会 すみだスマイル♡フェスティバル 新年顔合わせ会
すみだまち処共同展実演

（３）調理支援

毎週水曜日に調理実習を実施しました。

（４）健康管理

・検温（毎日）・体重測定（週１回）・血圧測定（週１回）・健康診断（年１回）

（５）安全管理

年に２回、避難訓練を実施しました。

（６）新聞発行

月に１回、デイサービス通信を発行しました。

５ 重点課題に対する取り組み

① 生活介護

- （１）手助けが必要な支援についても利用者が精神的負担を感じないようきめ細やかな対応を心がけました。
- （２）利用者が落ち着くことのできる穏やかな雰囲気の中で、体調や状況に合わせた活動内容や活動形式を工夫し、充実感を感じられるよう努めました。

② 社会交流

- （１）障害者スポーツレクリエーション大会では花文字競争の標語が採用され、また、応援団を結成し練習を重ね、利用者が一致団結して応援し大いに盛り上がりました。
- （２）様々な行事や日頃の買い物などを通して社会参加ができるよう支援しました。

③ 健康維持

- （１）利用者の疾病状況や発作等の特性を学習することにより、職員一人ひとりが迅速に対応できる体制を整えました。
- （２）服薬管理を徹底し、服薬時の確認、留意点に配慮しながら対応しました。
- （３）「徒歩でゆく東海道五十三次」は静岡県の「岡部」に到着いたしました。

平成 27 年度 亀沢七福福祉作業所 事業報告

1 利用者の状況

(1) 利用者数および年齢分布 (28.3.31 現在)

男性 10 名 女性 7 名 合計 17 名

年齢分布

	26 年度末(27.3.31)			入所		退所		27 年度末(28.3.31)		
年代	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18～19 歳	0	0	0					0	0	0
20～29 歳	1	0	1					1	0	1
30～39 歳	4	1	5					4	1	5
40～49 歳	3	2	5					3	2	5
50～59 歳	1	3	4				1	1	2	3
60 歳～	1	2	3					1	2	3
計	10	8	18				1	10	7	17
平均年齢	42.0	51.3	46.1					43.0	51.9	46.6

(2) 障害分布 (28.3.31 現在)

愛の手帳

	男性	女性	計
1 度			
2 度	2		2
3 度	2	2	4
4 度	6	5	11
計	10	7	17

障害支援区分

	男性	女性	計
区分 1			
区分 2	4	4	8
区分 3	2		2
区分 4	2		2
区分 5			
区分 6			
未判定	2	3	5
計	10	7	17

2 営業日数および延べ利用者数

(1) 営 業 日 数 : 239 日

(2) 延べ利用者数 : 3,901 人

3 支援状況

生産活動等を通し、利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、その知識と能力の向上に必要な福祉サービスの提供に努めました。また、緑化事業や公園清掃等の屋外活動を通して、地域に対する障害者理解のための啓発へとつながるよう努めました。

当所はこれまで度重なる移転を余儀なくされてきましたが、永住の地となる「空ゆけ未来工房」への移転と同時に、すみだ厚生会館福祉作業所利用者の受入れが決定しました。平成28年4月1日の開設へ向け、法人本部と連携を密にとり通常の業務と並行しながら移転準備を進めてきました。

利用者支援にあたっては、運営規程に基づき、個別支援計画を中心とした利用者の処遇に万全を期すべく努めました。

(1) 行事

平成27年度は以下の行事を行いました。

5月8日	バスハイク	千葉方面 潮干狩り他	利用者 17名 職員 6名
6月18日	ボウリング 大会	アイビーボウル向島様より招待	利用者 16名 職員 6名
8月4日	誰でも コンサート	すみだトリフォニーホール招待 ジュニアオーケストラ演奏 鑑賞	利用者 17名 職員 5名
10月15日 16日	宿泊旅行	山梨・長野方面 キウイ狩り ペンション山ぼうし 宿泊	利用者 14名 職員 6名
10月18日	スポレク	区主催 障害者(児)スポーツ レクリエーション大会 参加	利用者 16名 職員 5名
12月6日	スマイル フェスティバル	区主催 ノーマライゼーション推進 啓発事業 参加	利用者 16名 職員 6名
12月26日	利用者 忘年会	当所食堂にて食事会 にじの会主催 ビンゴ・カラオケ等	利用者 17名 職員 6名
1月5日	新年 顔合せ会	墨田さんさん会主催 曳舟文化センター	利用者 16名 職員 6名
3月29日～ 31日	区内 外出行事	カラオケ 七福神巡り等	利用者 16名 職員 5名

（２）余暇活動

上記レクリエーション行事の他に毎月第３火曜日の午後を余暇活動とし、利用者の希望や意見を反映させながら趣味やスポーツ活動を中心に実施しました。

（３）健康管理の取組み

施設としての利用者の健康状態の把握と、利用者による自己管理の両面から、次のことを行っています。

方 法	実施サイクル	
日常の健康チェック	毎日	体調の変化等に対し、迅速な対応を行いました。
体重測定	月１回	グラフ化し利用者への助言、家庭へ測定記録の配布をしました。
定期健康診断	１０月２８日	本所保健センターにて胸部 X 線・尿・血液・血圧・内診等の検査を行いました。

（４）安全管理

施設内及び通所途中の事故防止について、普段から作業所の生活の中で注意を喚起していくとともに、野外行事における職員体制の強化を図りました。

また、火災や大地震の発生に備え、５月２８日・９月２４日に避難訓練を実施しました。

（５）就労支援

作業所では利用者支援のひとつのゴールとして、就労支援に取り組んでいます。就労支援センターと連携し、就労に向けた取り組みを行ってきましたが、企業就職へは、至りませんでした。

また、法人においても３事業所が協働している食品トレーの選別について、リサイクルストックヤードでの出退勤や工賃の時給制等、より一般就労に近い労働形態となるような環境整備に努めました。

（６）食事支援

毎週２回、職員の調理による給食を実施しました。通常の仕出し弁当とは違い、温かみや家庭的雰囲気のある食事を提供することで、利用者や保護者から好評を得ています。

4 工賃推移

平成 27 年度の工賃支払額は以下のとおりです。

※（ ）内は一人当たり平均工賃月額

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
477,553 円 (28,091 円)	444,357 円 (26,139 円)	498,984 円 (29,352 円)	501,559 円 (29,503 円)	581,068 円 (34,180 円)	547,133 円 (32,184 円)

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
481,302 円 (28,312 円)	456,019 円 (26,825 円)	434,731 円 (25,572 円)	451,436 円 (26,555 円)	542,751 円 (31,927 円)	566,416 円 (33,319 円)

27 年度工賃支払総額 5,983,309 円（前年度比 128,850 円減）

一人当たり平均工賃 29,330 円（前年度比 362 円増）

26 年度全国平均工賃 14,838 円（※注）

※注 対象：就労継続支援 B 型事業所（9,244 施設）

（「平成 26 年度工賃（賃金）月額の実績について」 厚労省 HP より）

5 重点課題への取り組み

新規事業所「空ゆけ未来工房」への移転に向けた取り組みを 27 年度の最重要課題と位置づけ、日常の利用者支援等の業務と並行しながらの 1 年でした。建設にあたっては、法人本部と連携を取りながら準備を進め、平成 28 年 4 月 1 日に開所式を迎えることができました。3 月 31 日まで旧事業所に通い、1 日も休業させることなく新事業所に移行させることができたことは法人にとって大きな成果と感じているところです。

まず、新事業所における「自主生産作業」としてハンバーガーの製作を全員で取り組み、開設までに準備すること、厚生会館利用者も含め利用予定者の通所訓練を行うこと、新事業所で必要となる備品等の確保や購入、地域等々へのご挨拶等の対応に明け暮れる毎日でした。こうしたことが順調に行えたのも職員の努力と一人ひとりが目標に向かう高い意識の賜物と確信しているところです。

平成 27 年度 向島七福福祉作業所 事業報告

1 利用者の状況

(1) 利用者数・年齢分布

男性 10 名 女性 8 名 合計 18 名

年齢分布

	26 年度末 (27.3.31)			入所		退所		27 年度末 (28.3.31)		
年 代	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18～19 歳	0	0	0					0	0	0
20～29 歳	0	0	0					0	0	0
30～39 歳	1	0	1					1	0	1
40～49 歳	3	4	7					3	4	7
50～59 歳	4	2	6					4	2	4
60 歳～	2	2	5				1	2	2	6
計	10	9	19				1	10	8	18
平均年齢	51.2	52.8	52.1	0		1		53.2	53.0	53.1

(2) 障害内容 (28. 3. 31 現在)

愛の手帳	男性	女性	計
1 度	0	0	0
2 度	0	1	1
3 度	4	2	6
4 度	6	5	11
計	10	8	18

(このうち、身障手帳 3 級が 1 名)

(3) 障害支援区分

障害区分	男性	女性	計
2	4	4	8
3	3	1	4
4	1	0	1
未判定	2	3	5
計	10	8	18

2 利用状況

開所日数 239 日

延利用人数 4,282 人

3 支援状況

就労継続支援 B 型事業所として、ひとりひとりのニーズを反映するため、利用者、保護者、施設職員で個別面談を行い、利用者や保護者(世話人)などの希望を伺いました。それをもとに施設内外での日常生活を通して、社会人として必要な知識や能力を向上させていく事ができるよう、利用者本位の支援体制のもと福祉サービスの質の向上を目

指しました。

また、全職員がケース会議や職員会議などで共通認識を持ち、知的障害者のニーズに柔軟に対応し、安定したサービスの提供ができるよう努めました。

(1) 行事

平成 27 年度は次の行事を実施しました。

4 月 24 日	バスハイク	国営ひたち海浜公園見学 イチゴ狩り(すずめっこ森)	茨木方面
6 月 24 日	ボウリング大会	アイビーボウル向島よりご招待	アイビーボウル向島
10 月 18 日	スポーツ・レクリエーション大会	区主催 障がい者(児)スポーツレクリエーション大会に参加	墨田区総合体育館
11 月 12 日 ～13 日	宿泊旅行	ジャム作り体験、リンゴ狩り、水陸両用バス乗車(かんぽの宿石和)	山梨方面
12 月 5 日	すみだスマイルフェスティバル	区主催	曳舟文化センター
12 月 28 日	お楽しみ会	食事会・ゲーム・DVD鑑賞	施設食堂
1 月 5 日	新年顔合わせ会	法人全事業所による顔合わせ食事会	曳舟文化センター
2 月 26 日	所外活動	新日本フィルコンサート鑑賞	すみだワクワク工房

(2) 余暇活動

平成 27 年度は次の余暇活動を実施しました。

6 月 2 日	DVD鑑賞	利用者の希望により「踊る大捜査線」のDVD鑑賞を食堂にて行った	利用者 18 名 職員 6 名
7 月 3 日	DVD鑑賞	上記DVDの続編を上映した。	利用者 18 名 職員 6 名
8 月 31 日	お菓子作成	食堂にてわらび餅の作成。後に退社する職員のお別れ会を行った	利用者 16 名 職員 6 名
9 月 29 日	スポレク話し合い	10 月のスポーツ大会の出場種目の話し合い。	利用者 17 名 職員 4 名
10 月 29 日	宿泊旅行の班決め	本人会主催で行事の時間の使い方や班の分け方の話し合いをした	利用者 17 名 職員 4 名
11 月 25 日	卓球	作業室の机を合わせ 2 チームで打ち合いを行った。	利用者 18 名 職員 4 名
1 月 28 日	デザート作り	食堂にてお汁粉作り、終了度DVD鑑賞	利用者 17 名 職員 5 名
2 月 24 日	所外活動	そらまちのスカイワゴン企画展の見学	利用者 17 名 職員 4 名
3 月 4 日	DVD鑑賞	利用者の希望により「風の谷のナウシカ」のDVD鑑賞を食堂にて行った	利用者 17 名 職員 5 名
3 月 31 日	茶話会	お菓子とお茶を飲みながら、異動となる職員に一人ひとり利用者が挨拶をした。	利用者 17 名 職員 6 名

(3) 健康管理の取り組み

施設として利用者の健康状態の把握と利用者の自己管理の両面から、次のことを行っています。

方 法	実施サイクル	内 容
日常の健康チェック	毎日	体調の変化等に対する迅速な対応
体重測定	月 1 回	毎月の体重変化を把握し、健康管理について助言する
定期健康診断	10 月 28 日	本所保健センターにおいて胸部X線・尿・血液・血圧・内診・心電図等の検査を行いました

(4) 安全管理

事業所内及び通所途中の事故防止について、普段から作業所の生活の中で注意を喚起していくとともに、野外行事における職員体制の強化を図りました。また、火災や大地震の発生に備え、緊急時の心構えや行動の要領を身に付け、利用者を迅速かつ安全に避難させる行動要領を習得するため、年 2 回の避難訓練を実施しました。

避難訓練実施日 平成 27 年 5 月 25 日 (火災避難訓練)

平成 27 年 11 月 21 日 (地震避難訓練)

(5) 就労支援

作業所では利用者支援の一つのゴールとして、就労支援に取り組んでいますが、年齢的な事もあり、今年度も就労を希望する利用者はいませんでした。

(6) 食事支援

お弁当のご飯、お汁は別容器にて持ってきてもらった。暖かいものを提供することが出来た。また毎週 2 回、職員の調理による給食も実施しました。通常の仕出し弁当では感じる事の出来ない温かみや家庭的雰囲気の食事を提供することで、利用者はとても楽しみにしており、好評を得ています。

4 工賃推移

前年実績より少し減少したものの、平成 27 年度の利用者工賃の毎月平均と総額は以下の通りです。

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
¥613,539 (¥32,291)	¥592,536 (¥31,186)	¥534,324 (¥28,122)	¥526,657 (¥29,258)	¥719,567 (¥39,975)	¥504,098 (¥28,005)
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
¥577,261 (¥32,070)	¥614,709 (¥34,150)	¥650,512 (¥36,139)	¥494,323 (¥27,462)	¥546,663 (¥30,370)	¥540,860 (¥30,047)

27 年度工賃支払総額
一人平均

6,915,049 円
31,590 円

5 重点課題への取り組み

① 職員による利用者支援の向上

意見箱への投書がなかった為、個別での聞き取りや面談にて個々の相談に対応しました。利用者間のトラブル回避、仲直り等の介入をしました。作業室に通路部分を設け、利用者同士の接触を避けるよう留意し安全性を高めました

支援計画の統一性を図り支援向上に努めました。

② 利用者が工賃等の支払いについて理解しやすい情報提供

3 か月毎の工賃査定での評価基準や評価比率などをみんなが確認できるよう掲示し、どういう点を評価しているか説明し、利用者が理解できるよう取り組みました。

③ 本人会の充実

定例会で行事や宿泊旅行の希望等を反映することを伝え、本人会の話し合いの中から出た要望を取り入れて実施してきました。

役員の任期の検討を話し合って、会則の改訂についても話し合っています。

④ 個別支援計画の策定

利用者の日々の生活の中から課題と、ニーズを拾い上げ目標を設定しました。又利用者にはそれぞれの要望を聞き取り反映されるよう 28 年度からの個別支援計画を作成しました。保護者（世話人）には面談時に確認を行いました。

⑤ ケース記録の充実

個別支援計画に則り、利用者への支援状況や健康状態などを記録し、ケース記録の充実を図りました。

平成27年度 ほーむ大洋 事業報告

平成21年4月に開設し、7年間事故等もなく無事に過ごすことができました。

共同生活援助施設として、7名の方々がお互い生活習慣や対人関係を大切にしながら安定した共同生活を過ごしています。

穏やかで家庭的な雰囲気作りと入居者一人ひとりを大切にできる環境整備を目指して27年度も努力してまいりました。こうした中で、入居者の方々も生活基盤ができ、落ち着いてきたように思います。

今後も安心して暮らせるような環境作りと職員体制の強化、健康管理や安全管理に留意して、虐待や人権侵害のない開かれた施設作りを進めます。

1 入居者の状況

① 入居者数・年齢分布

年代	男	女	計
20代			0
30代	2		2
40代	1	1	2
50代			0
60代	1	2	3
計	4	3	7

② 障害支援区分

区分	男	女	計
1	0	1	1
2	1	1	2
3	1	1	2
4	0	0	0
5	1	0	1
6	1	0	1
計	4	3	7

③ 日中活動

区分	男	女	計
一般企業	1	0	1
福祉作業所	1	3	4
ワクワク	2	0	2
計	4	3	7

2 職員体制

	常勤職員	非常勤職員	計
管理者 サービス管理責任者	1(兼務)	0	1
世話人	1	3	4
生活支援員	0	2	2

3 支援状況

① 個別支援計画の作成

個別支援計画は、個々の特性に応じたきめ細やかな支援を行っていくための指針となるものです。また、一人ひとりのニーズを反映するために入居者、保護者、関係機関の職員とほむ職員との合意のもとに作成しています。

これにもとづき、短期・長期目標や支援の方向性を具体的に明示し、目標実現を図ってまいりました。

② 行事

誕生会	4月・5月・8月・1月	アイビーボール・コロンブス
		デニーズ・天狗・バーミヤン
日帰り旅行	9月	池袋サンシャイン水族館
花火大会	7月	大洋屋上
クリスマス会	12月分	大洋食堂
宿泊体験	3月5日・6日	鴨川

③ 健康管理

朝食や夕食時に入居者一人ひとりの健康状態を把握し、日中活動への参加を支援すると共に、疾病時には病院に付き添い薬の飲み忘れのないよう、声掛け等の支援をし、健康管理の維持に努めてまいりました。

④ 安全管理

個々の障害を理解し、安全で快適な住居の環境整備に努めました。

⑤ 日中活動への支援

入居者が毎日健康で日中活動が維持できるよう、施設や現場との連携を図り、生活状況等の相互関係に努めました。

⑥ 本年度重点課題

区・各作業所主催の行事への参加希望者には、職員と一緒に同行しました。また、近隣の行楽地に出かけることや宿泊体験を実施し、外出する機会を増やすことで、思い出作りや余暇活動の充実を図りました、

食事のメニューがマンネリ化しないように皆さんの希望を取り入れながら提供しました。

今後も、引き続き利用者の皆さんに楽しんでもらえるよう努めてまいります。

平成27年度 ほーむアンブレラ 事業報告

平成22年2月に開設し、6年間を無事に過ごすことができました。

共同生活援助の施設として、開設と同時に14名の方々を迎え、心を込めた朝夕の食事提供、リラックスして一日が終われるよう毎日の入浴準備、個々の相談にも十分に対応し、安心して暮らせるような環境づくりを心掛けてきました。入居者の皆さんも生活習慣や対人関係を大切にしながら、安定した共同生活を過ごしています。

今後も職員体制を強化し、安全管理や健康管理に留意して、虐待や人権侵害のない開かれた施設づくりを進めます。

1 入居者の状況

① 入居者数・年齢分布

年代	男	女	計
20代	2		2
30代	1	1	2
40代	4	1	5
50代	2	1	3
60代	2		2
計	11	3	14

② 障害支援区分

区分	男	女	計
1	4		4
2	1		1
3	2	2	4
4	2		2
5			0
6	1	2	3
計	10	4	14

③ 日中活動

	男	女	計
一般企業	2		2
福祉作業所	6	1	7
ワクワク	1	1	2
ひだまり	1	1	2
はばたき	1		1
計	11	3	14

2 職員体制

	常勤職員	非常勤職員	計
管理者 サービス管理責任者	1(兼務)		1
世話人	1	6	7
生活支援員		6	6
計	2	12	14

3 支援状況

① 個別支援計画の作成

個別支援計画は、入居者の個々の特性に応じたきめ細やかな支援を行っていくための指針となるものです。個別支援計画は一人ひとりのニーズに反映するために、入居者、保護者、関係機関の職員、ほ一む職員の合議のもとに作成しました。これにもとづき、短期・長期目標や支援の方向性を具体的に明示し、目標実現を図ってまいりました。

② 行事

暑気払い	8月	アンブレラ食堂
忘年会	12月	
誕生会	4月・7月・8月・10月	
	12月・1月・3月	
所外レク	7月	秩父

③ 健康管理

朝食時や夕食時や帰寮の際に、入居者一人ひとりの健康状態を把握し、活動への参加を支援するとともに、疾病時には病院に付き添い、薬の飲み忘れのないよう、声掛け等の支援をし、健康管理の維持につとめてまいりました。

④ 安全管理

個々の障害を理解し、安全で快適な住居の環境整備に努め、火災や大地震の発生に備え、6月と12月に避難訓練を実施しました。

⑤ 日中活動への支援

入居者が、毎日健康で日中活動の維持・継続できるよう、施設や職場との連携を図り、生活の状況等の相互関係に努めました。

⑥ 本年度重点課題

○ 区や各作業所主催の行事への参加希望者には、職員と一緒に同行しました。又、近隣の行楽地に出かけることや、宿泊体験を実施し、外出する機会を増やすことで思い出作りや余暇活動の充実を図りました。

○ 食事の内容がマンネリ化しないように皆さんの希望を取り入れながら提供しました。概ね好評のようでした。

今後も引き続き利用者の皆さんに楽しんでもらえるよう努めてまいります。

平成27年度 相談支援センターさんさん 事業報告

27年度は就労継続支援 B 型の施設の利用者のサービス更新プランの作成を中心に行いました。利用者本人や保護者の要望や意向を十分に聴きそれが反映できる計画ができるように努力を致しました。

また、モニタリングを行うことで計画がしっかり行えているか確認を行いました。

1 契約者数

127 名

(墨田さんさんプラザ：63 名 亀沢七福福祉作業所：18 名 向島七福福祉作業所：18 名 ワクワク工房デイサービス：14 名 ほーむ：9 名 その他：5 名)

2 利用実績

所属・相談種別件数

所 属	計 画	モニタリング	計画+モニタリング
墨田さんさんプラザ	12	10	55
亀沢七福	3	0	15
向島七福	2	8	9
ワクワク工房デイサービス	2	8	7
ほーむアンブレラ・大洋	5	4	5
その他※	3	1	5
合 計	27	31	96

*企業等

3 契約者地域別数

墨田区：120 名

台東区： 1 名

江東区： 2 名

葛飾区： 1 名

江戸川区：1 名

福島県富岡町：1 名

文京区：1 名（平成27年度途中墨田区より転居）

27年度の計画に沿った事業展開ができました。複数のサービスを利用される方が増えて、他事業所との調整、交渉が多くなりました。

平成28年3月に墨田特別支援学校を卒業された4名の利用者が墨田さんさんプラザに入所を希望されたので、受給者証の申請を行いました。

4 職員体制（平成28年3月31日現在）

管理者(兼務)	相談支援専門員(兼務)	計
1	1	2